

# 人口減少社会を見据えたネットワーク型コンパクトシティ(NCC)の形成

魅力ある地域拠点の形成や地域コミュニティ維持・形成 地域の魅力発信フォトブックづくり

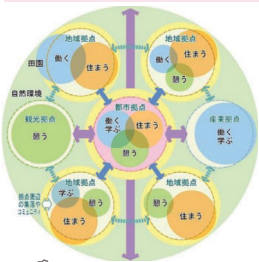
4班 対象地域：宇都宮市城山 地域パートナー：宇都宮市都市計画課

コミュニティデザイン学科：熊谷薫那 建築都市デザイン学科：石田あずみ 本多拓斗 社会基盤デザイン学科：小林亘



## 1. 背景

### 1.1 宇都宮市の目指すまちづくり



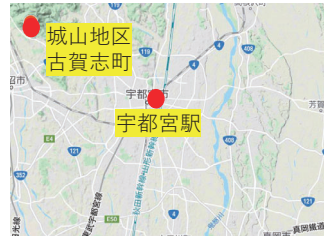
市では、人口減少や超高齢社会に対応し、NCCによる、中心部や各地域が持続的に発展できるまちづくりを目指している。

出典：ネットワーク型コンパクトシティ「宇都宮市公式Webサイト」(city.utsunomiya.tochigi.jp)

### 1.2 城山地区古賀志町とは

人口：約600人 高齢化率約28%  
産業：果樹栽培、鹿沼土、稲作、畜産など  
特色：自然豊かな地域であり、登山、パラグライダーの利用もある古賀志山がある。一方、校庭の桜がシンボルの城山西小では、小規模特認校として、特色のある教育がなされている。

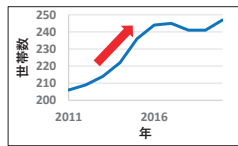
出典：令和3年3月末宇都宮市別住民基本台帳



古賀志山



城山西小学校



出典：宇都宮観光コンベンション委員会  
http://www.utsunomiya-convention.com/ 0120-111111  
http://www.utsunomiya-convention.com/utsunomiya-convention/0120-111111  
宇都宮市 町丁目人口 (過去5年未満) より作成

## 2. 調査目的

地域の現状を知り、他の地域の活性化事例を調査。地域に合った活性化案を検討。

## 3. 調査方法・調査結果

### 3.1 文献調査

城山地区、県内外、国外を対象に、過去のアンケート調査、統計、地域活性化事例を書籍9冊とインターネット45件から調査。

#### 〇活性化事例

文献(活動)	地域区分	引用元	調査結果
広島市立大学町おこしフェスタの活動(平成28年)	県外	Web資料	高齢化と人口減少のため存続の危機となっている地区で、大学生が町の魅力発見、体験を通して、動画配信で魅力をPR。 →大学生が実際に農作業、カヌーや餅つき体験を、SNS、動画での魅力発信を行っていた。花と緑のまちづくりとして、緑の回廊づくり、美しい畑や山があり、公署での清里町景観百景の作成、ウォーキングトレイルの開催がある。
北海道清里町の取り組み	県外	Webサイト	→景観百景は、町民から町の恵まれた景観ポイントを応募してもらい、地域の魅力を再確認する企画。ウォーキングトレイルは、景観と農村の景観を味わいつつ、健康づくりに役立ててもらおう狙いがあった。
緑あふれる自由都市ポータル	国外	書籍	住みたい街として人気が高いアメリカオレゴン州のポータルランドでの取り組み事例を紹介。 →ジャンルを問わず、町の様々なポイントを自由な形式で冊子にする取り組みがあった。

### 〇城山地区の統計、アンケート結果

移動は主に車中心、町では公共交通が少なく、デマンドタクシーを導入している。自治会活動は活発だが、若い世代の参加が少ない。情報収集、伝達方法に強化が必要とされている。

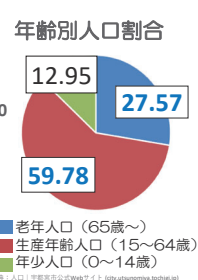
出典：城山地域ビジョン 10年後の将来像「ホッとするまちろくやま」(平成27年6月)

#### 地域コミュニティの将来

地域内の各種団体が連携を強め、まちづくりに参加する体制が整っている  
地域の課題解決に向けて、話し合いがされている  
地域内の課題を明確にする仕組みができています  
誰もが地域内の情報を共有できている

#### 医療福祉の将来

かかりつけ医等があり適切な医療を受けられる  
住み慣れた地域で生きがいを持ち安心してくらすことができる  
助け合いの精神により地域が一体となっている  
心身ともに健康に暮らすことができる



地域の理想像として、地域参加と情報発信の仕組みづくりが求められている。生きがいを持ち安心して暮らすことが求められている。高齢化はしているが、生産年齢人口は多い。

### 3.2 現地調査

6月29日城山地区古賀志町にて、地域の特徴・課題を知ることの目的に、地域の方との座談会と街歩きを実施。

※田中様(宇都宮市議会議員)北條様(城山西小と地域振興を考える会会長)

#### 〇街歩き(地域見学)ルート



コーポラティブ住宅

公民館

鹿沼土

#### 〇座談会

##### 【ご意見】

- ・移住促進さくらプロジェクトにより、移住者が増加した
- ・「孝子桜祭り」では、地域の積極的なコミュニティ活性化が行われている
- ・コロナ禍では地域でのコミュニケーションが難しい
- ・少し離れた家の人の名前がわからない
- ・住民と移住者の協働、若者の地域参加が難しい

## 5. 提案

### 5.1 古賀志町フォトブックづくりについて

・チラシ、Instagram等を用いて写真(コメント付き)を募集。また、地域の方々からも写真(コメント付き)を提供していただいた。その後、フォトブックを作成し、地域の魅力を可視化。「古賀志町 今昔 時を紡ぐ」には、古賀志町の今と昔の写真を通して、町の魅力を再発見、新たに発信、発信したいという思いがある。

・地域内外での魅力の共有・PR、住民による地域の魅力の再発見、新たな発見より、フォトブックをきっかけにした地域交流の増加などの効果を期待。

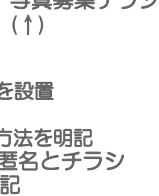
### 5.2 企画の発表・意見交換会

日時：10月19日 参加者11名 4班の4名  
柴田様 / 宇都宮市議会議員  
北條様 / 城山西小と地域振興を考える会会長  
松浦様 / 城山西小学校副校長  
北條様 / 古賀志自治会 会長  
片庭様 佐藤様 西原様 / 宇都宮市都市計画課

#### 【ご意見と案の改善】

- ①募集テーマを事前設定した方がよい
- テーマを設定、チラシに明記
- ②現物写真は小学校の施設で回収できる
- 「こがし桜スクール」に写真回収ボックスを設置
- ③チラシの中に写真の選考は学生判断で実施する旨を明記した方がよい
- チラシに選考方法を明記
- ④誰の写真が特定されない工夫が必要
- 原則匿名とチラシに明記

#### 写真募集チラシ(↑)



## 6. 成果

### 6.1 古賀志町フォトブック 古賀志町 今昔 時を紡ぐ



・古賀志町の今と昔の思い出、豊かな自然や文化といった町の魅力が詰まったフォトブック。写真の特色に合わせて設けたテーマ毎に、写真のレイアウト、デザインを一から班で考え、地域パートナー、地域の方へデザイン案を2つ作成し、ベース案を決め、改善を経て完成。  
・本書を通して、地域内の方々には魅力を再発見、移住者や地域外の方々には新たな魅力を知っていただき、地域交流の増加、住民参加の拡大や移住促進へつなげる目的がある。

### 6.2 成果物披露会・意見交換会

日時：1月13日 参加者9名 4班の4名  
柴田様 / 宇都宮市議会議員  
北條様 / 城山西小と地域振興を考える会会長  
松浦様 / 城山西小学校副校長  
北條様 / 古賀志自治会 会長  
片庭様 古田様 / 宇都宮市都市計画課

#### ●4班からの提案⇒地域への寄贈、紹介

- ・地域内での活用  
寄贈先：城山西小学校、こがし桜スクール、古賀志町公民館、城山地区市民センター
- 小学校の授業、公共施設、図書室での利用、「孝子桜まつり」等
- ・地域外での活用 寄贈先：宇都宮市立東図書館、宇都宮市立中央図書館、宇都宮大学図書館
- 図書館での貸出、閲覧
- ⇒活用方法について、今後話し合い、検討